



出発前の記念撮影、安全対策の徹底を誓った

年度末

安全管理の再徹底を



木村会長

郡山建設業協会は事業計画で、安全施工対策の研究や要望を含めた「労働災害防止対策」の推進を重点事項の一つに掲げ、その中でも「安全パトロール」の実施は重要事業として位

「安全パトロール」を実施

郡山建設業協会(木村隆男会長)は3月14日午後、奈良労働局奈良労働基準監督署及び奈良県土木マネジメント部郡山土木事務所と合同で「安全パトロール」を行った。年度末の繁忙期に工事現場における事故を未然に防ぐため、「安全管理」について再徹底と再点検を促した。木村会長は「安全は皆が大事にしなければいけない重要事項。仕事で怪我を負って帰る必要はない。自発的な安全対策を」と訴え、労働災害防止への徹底を呼び掛けた。

一般社団法人 郡山建設業協会

冒頭、木村会長は「安全は誰もが大事にしなければならぬ重要な事項。仕事で怪我をして家に帰る必要はない。安全を確保する自主的・自発的な労働災害防止への行動を。無事故・無災害で家に帰れるように心掛けてまいりたい」と安全衛生の徹底を訴えた。

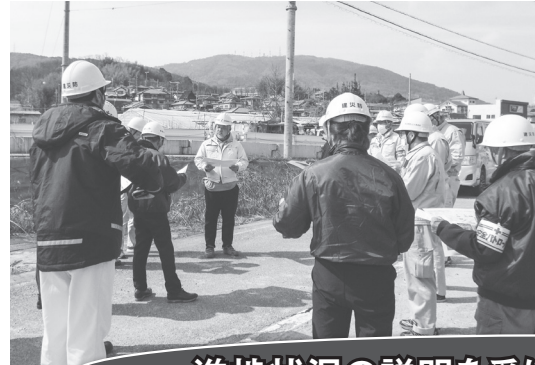
現場では、郡山土木事務所の担当職員や現場監督から概要の説明及び工事の進捗等の詳細な報告を受け、安全対策や現場環境などを入念にチェックした。パトロール終了後は、協会会館に戻り協会員も多数参加して、講評と安全管理についての講演を行った。

置っている。今回の合同パトロールには、奈良労働基準監督署から奥田亮太郎安全衛生課長、郡山土木事務所からは小松順所長、梶田伸吾主任、前川昌広計画調整課長、木村武史幹線建設課長、高田裕輔工務課長ほか現場担当職員らが参加。

講評で奥田課長は「整理整頓の行き届いた現場と感じた、事前に整理していたかもしれませんが、この整理された状態を今後も維持して頂ければ」と講評。講演では、昨年の労働災害発生状況や死亡災害事例を紹介しつつ、「脚立やはしごを使用する前に、作業前のチェックを行う。安全を更に強固にして欲しい」と注意喚起した。昨年度からスタートしている第14回労働災害防止計画について解説

「熱中症による死亡災害は建設業が多い、4月を準備期間とするクールワークキャンペーンに取り組みなど、安全対策の実施を」と呼びかけ講演を締め括った。

自発的な労働災害防止への行動を



進捗状況の説明を受け、安全対策を確認した



現場環境など入念にチェックした



奥田課長



小松所長



パトロール後に現場の講評と安全管理の講演を行った

一般社団法人 郡山建設業協会
事務局 大和郡山北郡山町六九五二〇
TEL 〇七四三二一五二〇〇
FAX 〇七四三二一五二八五〇

会長 木村隆男 (株)木村組

副会長 青山雄之 (株)青山組

西谷徹 (株)西谷建設

山岡告章 (株)山岡組

北川由美子 (北川建設(株))

北門忠行 (北門組)

吉川均 (吉川建設)

峠隆雄 (和光建設(株))

上武秀幸 (上武建設)

北川精一 (北川工業)

井上善広 (株)井上善土建

原田泰孝 (高田重機建設(株))

藤本正成 (藤本建設(株))